

行政との連携・協同

■ 7/26 静岡県くらし・環境部県民生活課との連絡会

県行政との協力・連携をすすめることを目的に、毎年「県民生活課・県生協連連絡会」を開催しています。県からは消費者行政の推進に關し、昨年策定された第3次消費者行政推進基本計画について、消費生活相談実績について、不当な取引に対する行政処分・指導の状況について、不当な広告表示等に対する行政処分・指導の状況について報告がされました。県生協連として県の進めるエシカル消費啓発の取り組みに関わっていくことを確認しました。



■ 11/6 静岡県議会会派との懇談会

県議会議員の皆様に生活協同組合の活動を理解していただくことを目的に、ふじのくに県民クラブの田内浩之幹事長と懇談会を開催しました。県生協連も参加しているフードバンク活動やフェアトレード商品の普及について好意的に受け止めて頂きました。



■ 10/11 第42回東海北陸生協行政合同会議に参加（富山県）

全体で57名、静岡県からは県民生活課から1名、県生協連から5名が参加しました。富山市から「SDGsは未来からの課題～世界や国の動向と富山市の取り組み～」が報告されました。公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりとSDGs未来都市推進ビジョンに基づくさまざまな取り組みが報告されました。

協同組合間の連携・協同

■ 11/11 協同組合学習交流会

県内の農協（JAグループ）、漁協、森林組合、生活協同組合から35名が集い、協同組合に関する学習と団体同士の交流を深めました。講演「協同組合をめぐる最近の動向と連携の重要性について」が行われました（講師：農林中金総合研究所 理事研究員 小野澤康晴氏）。参加者が5つのグループに分かれ、講演内容について感じた事や協同組合の一員として今後実践・行動したいことをテーマに話し合いました。



■ 11/17 安倍川流木クリーンまつり

県生協連は2012年の国際協同組合年より参加しており、今年も県労福協、県労働金庫や県生協連などから役職員11人が参加しました。会場には行政・企業・協同組合などの諸団体から1300人が集まり、河川敷の流木やゴミを拾い集めました。

■ ヒロシマ・ナガサキ平和の旅（広島：8/5-7、長崎：8/7-9）

「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」を学び語り継ぐ取り組みとしてユーコープと共同し開催しました。今年は、ヒロシマの旅に組合員・家族 17 名、ナガサキの旅に組合員・家族 5 名が参加しました。

ヒロシマの旅は4月に全館リニューアルした広島平和記念資料館の見学、広島市主催原爆死没者慰靈式典、ヒロシマ虹のひろばなどに参加しました。ナガサキの旅では、長崎原爆資料館の見学、ナガサキ虹のひろば、長崎市主催平和祈念式典に参加しました。

また、アフター交流会を8月24日（土）に行い、11名が参加しました。今回の旅を画像で振り返り、参加者からの報告レポートをもとに印象に残ったことなどを交流しました。「平和祈念式典の雰囲気を肌で感じることができた」「原爆の絵が怖かった」「同じ年の子と友達になれた」など、3日間の旅で得られた経験が語られました。



■ 9・23 焼津行動

1954年3月1日に南太平洋上で行われた米国による水爆実験により被曝し、人類初の水爆被害者となった久保山愛吉さんを悼み核兵器のない平和な世界への誓いの場として「9・23 焼津行動」を諸団体と共同で開催しました。

焼津駅前には150名を超える方々が集まり、久保山さんの墓がある弘徳院まで墓参行動を行いました。引き続き墓前の誓いのつどいを開催しました。



午後に開催された焼津のつどいでは、ビキニ事件当時中学生であり、友人たちによりかけて署名活動を行った杉村征郎（すぎむらいくお）氏の講演が行われ、各団体からの活動発言がされました。県生協連は、墓前にさげる菊の花の手配と販売を行いました。

■ 10/6 第38回静岡県広島・長崎原爆死没者慰靈祭・追悼式典

鉄舟寺（静岡市清水区村松）において「令和元年度静岡県広島・長崎原爆死没者慰靈祭・追悼式典」が行われました。この慰靈祭は、1982年9月に慰靈碑が建立されてから毎年行われ、今年で38回目となります。主催者である静岡県原水爆被害者の会会長・大和忠雄氏のあいさつの後、読経、献花・焼香などが行われました。

県生協連からは、望月美可常務理事が参列しあいさつを述べました。あいさつの中で核兵器廃絶のために生協の取り組みとして、ヒロシマ・ナガサキ平和の旅の取り組みなど被爆地を訪れ学び「平和」について語り合うことの大切さを訴え、また2020年のNPT再検討会議には県生協連として代表を派遣し、被爆者の皆さんと共に世界に向けて核兵器廃絶のアピールしていくことが述べされました。



■12/5 静岡県委託事業 理事研修会（15 生協 27 名参加）

監事研修会（15 生協 26 名参加）

静岡県委託事業（令和元年度消費生活協同組合指導事務）として開催し、講師は日本生協連総合マネジメント本部法務部職員及び静岡県県民生活課事業者指導班職員が務めました。

理事研修会では「生協法と生協のガバナンス、役員の役割」をテーマに「生協に関する法的ルール」「生協のガバナンスと各機関・役員の役割」について学びました。監事研修会では県による巡回指導の状況報告の後に「監事監査の基本と監査のポイント」をテーマに「監事の職務の基本」「業務監査・会計監査の基本」「監査報告書の作成」について学びました。



■ 12/6 経理・税務学習会（8 生協 17 名参加）

講師に日本生協連管理本部経理部長をお招きし、「経理担当者に必要な会計処理知識」をテーマに、「決算関係書類の様式例」について、生協法および規則等に基づき必要事項を記載することや、消費税法改正、2019年度税制改正などタイムリーな内容について学びました。受講者から業務上の困りごとについて質問が出され講師から回答がされました。



■ 11/2 ALWF ゼミ・マネジャーコースに参加しました

「電子地域通貨さるばぼコインで地方を変える」（講師：黒木正人飛騨信用組合理事長）というタイトルでご講演いただきました。

黒木様からは、ご自身の金融機関での経験に続き飛騨信用組合の支援活動に関して、組織内の仕事改革（CSV 経営＝共有価値の創造等）、地域の改革（さるばぼコイン＝電子地域通貨）、働き方改革（平日の社員旅行等）など独創的な取り組みが話されました。

当連合会より望月美可常務理事、山田和仁事務局長が参加しました。





■ 令和元年度消費生活相談員資格取得支援講座が終了しました

静岡県委託事業「消費生活相談員資格取得支援講座」を今年も開講し、今年度は復習テストを2回実施するなど、資格試験に向けた実践的な講座となりました。

■ 11/9・11/10 静岡市消費生活展へ出展しました

静岡市消費生活展に「消費者クイズ」を出展しました。昨年に引き続き、会場の青葉イベント広場を往来する方々に参加を呼びかけ、延べ310名にご参加いただき、答合せをしながら契約についての正しい知識をお知らせしました。



第4回理事会報告

【日時】2019年11月29日（金）13:30～15:30 【場所】ALWFロッキーセンター大会議室（葵区黒金町）

【出席者】理事10名、監事1名、オブザーバー2名 【議長】中村範子常務理事

【報告事項】①第55回通常総会までのスケジュール ②2019年度静岡県生協連事業進捗報告 ③生協役職員研修会の開催について ④静岡県生協連主催「肌の健康」企画の開催について ⑤エシカル・ラボinしづおかへの出店について ⑥「岩手県被災沿岸部に“静岡のみかん”をお届けします」への協力について ⑦静岡県議会会派との懇談会開催報告 ⑧静岡県生協連MCA無線訓練実施報告 ⑩日生協中央地連2019年度第2回MCA無線訓練結果など《県生協連事業報告》が各担当者より行われた後、台風19号被害及び対応状況についての情報共有や《行政関係事業報告》、《諸団体関係報告》がされました。

行政関係への役員の参加状況

- 8/1 しづおか男女共同参画県民大会（望月常務理事）
- 8/19 第1回浜松市消費者教育推進地域協議会（中村常務理事）
- 8/27 エシカルサロン（県民生活課主催）（宮崎専務・中村常務理事・望月常務理事）
- 9/6 障害を理由とする差別解消推進県民会議（望月常務理事）
- 10/18 県海洋プラスチックごみ6R推進フォーラム（中村常務理事）
- 10/25 第2回県消費者教育推進県域協議会（中村常務理事）
- 11/11 県消費生活審議会（稻垣会長）
- 11/30 フェアトレードフォーラム2019 in Hamamatsu（中村常務理事）
- 12/2 ふじのくにCOOLチャレンジ第2回実行委員会（望月常務理事）
- 12/13 東海北陸生協県連協議会（宮崎専務理事）
- 12/18 令和元年度第1回静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会（中村常務理事）
- 12/21 エシカル・ラボinしづおか（宮崎専務理事）
- 12/23 食の安全推進のための意見交換会（望月常務理事）